



2019年12月11日

報道関係者各位

学校法人甲南学園

プレスリリース (2019.12.11)

本日、下記にかかるプレスリリースを別添資料のとおり配信いたしますので、ご査収いただき取材についてご検討くださるようお願い申し上げます。

記

- 第71回甲南大学総合研究所公開講演会
「甲南の教員が解説する Nobel Prize 2019 ～ノーベル物理学賞 / 化学賞～」開催のお知らせ
- 高大接続イベント「リサーチフェスタ 2019—研究課題を探す、話す、磨く—」開催のお知らせ

《本プレスリリース全体に関するお問い合わせ先》

甲南学園広報部

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

電話 078-435-2314 FAX 078-435-2546

Email: kouhou@adm.konan-u.ac.jp

本プレスリリース配信先：兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸市政記者クラブ

以上

第71回 甲南大学総合研究所公開講演会

甲南の教員が解説するNobel Prize2019

～ノーベル物理学賞／化学賞～



日時: 2019年12月21日(土) 13:30～15:00

場所: 甲南大学岡本キャンパス2号館 222教室

講師: 町田信也氏(甲南大学理工学部 教授)

須佐 元氏(甲南大学理工学部 教授)

本学理工学部では、SaLaCo(サラコ※)で定期的にランチョンセミナーを開催して、学生や教職員に最新の科学研究をわかりやすく解説しています。このセミナーの一環として、その年度のノーベル賞の受賞内容の解説も行い、毎回好評を得ています。※サイエンス・ラーニングコモンズの略称
そこで今回は地域の皆さまを対象として、物理学賞の受賞テーマである『宇宙の進化と宇宙における地球の立ち位置の解明』を理工学部 須佐元教授が、また化学賞のテーマである『リチウムイオン電池の開発』について同学部町田 信也教授がご紹介します。

* 講師紹介 *

甲南大学 理工学部教授 町田 信也(まちだ のぶや)氏

【略歴】 1986年～1991年 大阪府立大学工学部応用化学科 助手
1991年～2005年 甲南大学 理学部 講師・助教授
2005年～現在 甲南大学 理工学部 教授

【主な著作】 『全固体リチウム電池の開発動向と応用展望』シーエムシー出版(2019)
分担執筆 他多数



甲南大学 理工学部教授 須佐 元(すさ はじめ)氏

【略歴】 2000年～2002年 筑波大学第一学群物理学系 助手
2002年～2007年 立教大学理学部 講師・助教授
2007年～2011年 甲南大学 理工学部 准教授
2011年～現在 甲南大学 理工学部 教授

【著書】 『一般物理学』裳華房(2010年) 他



参加申込み不要

入 場 無 料

定員: 先着100名

お問い合わせ
甲南大学フロンティア研究推進機構事務室(総合研究所 担当)
<http://www.konan-u.ac.jp/souken/>
〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1
TEL. (078) 435-2559
FAX. (078) 435-2324
e-mail souken@ml.konan-u.ac.jp

阪急神戸線岡本駅、またはJR神戸線摂津本山駅より北西約徒歩10分。
なお、駐車場設備はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。



※兵庫県南部又は阪神地区に暴風警報が発令され、午前11時以降も継続中の場合は、当日の講演会は中止いたします。

2019年12月11日

報道関係者各位

甲南大学

高大接続イベント 「リサーチフェスタ 2019—研究課題を探す、話す、磨く—」 開催のお知らせ

甲南大学では、高校教育と大学教育とを接続する独自の取組みとして、兵庫県立高校で文系、理系共に実施が義務付けられた探究活動の学びの場となる「リサーチフェスタ 2019—研究課題を探す、話す、磨く—」を本年度も下記のとおり実施します。

リサーチフェスタは、広く行われている特定分野に限った研究発表会と異なり、文系・理系を問わない自由なテーマで、高校生と大学生、大学院生とがポスター発表形式で自分たちの「研究」や「活動」について様々な観点から議論し、学ぶ、甲南大学独自のイベントで、2017年より開催しています。

当日は高校生が約750名、高校教員が約100名、大学生・大学院生・大学教員等が約250名集まり、様々な交流が生まれる場となる予定です。（参加者人数は予定です。）

記

- 日時：2019年12月22日（日）10:00~17:00（9:30 受付開始）
※当日のスケジュールは裏面をご参照ください。
- 場所：甲南大学岡本キャンパス KONAN INFINITY COMMONS (iCommons)
- 参加者数(予定)：
高校生 約750名、高校教員 約100名、大学生・大学院生・大学教員等 約250名
- 当該イベントの特長
 - ①文系・理系を問わない自由なテーマでポスター形式の発表を行います。＜文理の出会いの場＞
 - ②さまざまな発表を聴講し、気づきをまとめるワークに取り組むことで、調査・研究の方法や発表のノウハウ（ポスターの作り方や話し方など）について学ぶことができます。＜気づきの場＞
 - ③普段は接点が少ない、大学生・大学院生、そして高校生が、発表やワークを通じて交流できます。＜交流の場＞
 - ④現在進行中の発表も歓迎しています。発表者は、抱えている課題を聴衆や専門家に聞き、議論して、探究活動の進展につなげることができます。＜成長の場＞
 - ⑤高校の先生にとっても学びの場となっており、幅広い分野の探究課題について、テーマ設定から解析、まとめ方まで、高校の教育現場にフィードバックでき、「探究活動」において生徒指導に役立つヒントが見つかります。

その他、当該イベントの詳細はホームページをご参照ください。（<https://ch.konan-u.ac.jp/festa/index.html>）

＜本プレスリリースに関するお問い合わせ先＞

甲南大学アドミッションセンター

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

電話 078-435-2319 FAX 078-431-2908 Email: ao@adm.konan-u.ac.jp

本プレスリリース配信先：兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸市政記者クラブ

「リサーチフェスタ 2019ー研究課題を探す、話す、磨くー」当日のスケジュール（予定）

時間帯	イベント	説明
9:30-10:00	受付	
10:00-10:20	ガイダンス	プログラムや配布物についての説明を行います。
10:20-10:50	自由閲覧	会場内を自由に巡って、前発表や本発表の時間帯に聞きたいと思うポスターを選ぶ時間です。
10:50-11:10	前発表①	<p>【発表者】 前発表①～③のいずれか1つの時間帯（20分間）で発表し（発表時間帯は指定されます）、他の2つの時間帯では、他者の発表を聞きます。発表・聴講の間に感じた気づきを「気づきノート」にまとめます。</p> <p>【聴講者】 前発表①～③のすべての時間帯で、他者の発表を聞きます。聴講しながら感じた気づきを「気づきノート」にまとめます。</p>
11:15-11:35	前発表②	
11:40-12:00	前発表③	
12:00-12:20	休憩・移動	ランチョンセミナー会場へ移動します。
12:20-12:50	ランチョンセミナー	昼食を食べながら聞くセミナーです。午前中の発表や聴講における気づきのポイントについて解説します。
12:50-13:10	休憩・移動	iCommonsの発表会場へ移動します。
13:10-13:40	本発表①	<p>【発表者】 本発表①～③のいずれか1つの時間帯（30分間）で発表し（発表時間帯は指定されます）、他の2つの時間帯では、他者の発表を聞きます。発表・聴講の間に感じた気づきを「気づきノート」に書き加えます。</p> <p>【聴講者】 本発表①～③のすべての時間帯で、他者の発表を聞きます。</p>
13:45-14:15	本発表②	
14:20-14:50	本発表③	
14:50-15:00	休憩	
15:00-15:45	ワーク	グループワークを予定しています。
15:45-16:00	休憩・移動	
16:00-16:30	講評	今後の探究活動に役立つアドバイスについてお話しします。
16:30-17:00	表彰式	ポスター賞の表彰を行います。

※参加者数の増減等により一部内容を変更する場合があります。